

平成24年度第1回伊予市行政評価委員会 会議録

日 時：平成24年6月11日 18時30分～20時25分

場 所：第3委員会室

出席者：妹尾委員長 高橋副委員長 向井委員 武智委員 藤本委員 曾根委員
事務局（森田 窪田 向井）

1 開会

事務局長あいさつ

2 議事

(1) 報告事項

① 行政評価関連の取組

○これまでの取組

- ・経営者会議にて制度運用の変更の決定
- ・職員（行政評価推進員）を対象とした制度変更の説明会の実施
- ・平成24年度事務事業における評価事業の選定（作業中）

○これからの取組

- ・外部評価に付す事務事業の抽出（本日、行政評価委員会において抽出）
- ・平成23年度事務事業について、6月から順次公開
- ・7月1日から市民意見公募の開始（広報7月号、伊予市HP、伊予市公式ツイッター等で周知）
- ・外部評価に付す事務事業の決定（行政評価委員会の抽出事業に加え、二次評価者による選定）

○制度運用の主な変更点（外部評価関連）

- ・外部評価に付す事業について、行政評価委員による抽出と二次評価者による選択を並立して実施（平成23年度事務事業）
- ・評価になじまない事業を評価対象外とする。対象外となった事務事業は、別途形式にて、基本情報（Plan-Do）のみ公開（平成24年度事務事業）
- ・評価シートの内容が不十分な場合は、必要に応じて担当職員のプレゼンを実施（平成23年度事務事業）
- ・二次評価者による外部評価選択の理由の記入（平成24年度事務事業）

（委員長）

今の説明について、質問はないか。

（委員）

事前資料の色分けの意味について聞きたい。

(事務局)

この後、詳細を説明するが、条件による色分けである。

(委員)

どれくらいの事業を選択できるのか。

(事務局)

本日、日程についても協議いただくが、前年と同様の委員会回数を見込むとすれば、40から50事業程度は審議できるのではないかと考えている。

(委員)

制度の変更に伴う職員の反応はどうか。

(事務局)

今回の見直しについては、好意的に受け止めているようだ。

(2) 審議事項

① 外部評価事務事業の抽出

(委員長)

資料について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料：「平成23年度事務事業行政評価一覧」及び「市民満足度調査」について説明

(委員)

この市民満足度とはどのように調査したものなのか。

(事務局)

市民の中から1,500人の無作為抽出を行い、その方を対象にアンケート調査を行ったもので、664人から回答を得たものを集計したものだ。

(委員長)

まず、今年度の外部評価の抽出方法を検討し、この委員会で抽出する事務事業を決定したいが、事務局から案はないか。

(事務局)

事務局案は用意していない。事前配布している資料を基に、1事業ずつでも抽出していただきたいと考えている。

(委員長)

では、資料の色分けも一つの目安になろうかと思う。どういう手順で抽出するか意見はないか。

(委員)

私なりにたたき台を作ってきたので、お配りしたい。この資料作成の際に、事前資料の色分けは非常に助けになった。

(委員長)

では、説明を願いたい。

(委員)

評価傾向、昨年の対象かどうか、経営者会議の最終判断、これらを踏まえ、42事業を抽出した。各抽出理由については、資料のとおりである。

(委員長)

すばらしい資料である。意見もなければ積極的に評価対象として抽出してもいいと思うが、その他意見はないか。

(委員)

私も検討してきた資料があるので、ご覧いただきたい。経費に着目し、一般財源比率100%のものをピックアップし、更に、この中から事業費100万円以上の事業を抽出したものだ。先程、提案をいただいた資料と比較すると重なる事業も多いと思う。

また、今回、データを基に機械的に抽出を行ったものであるが、先行投資型の事業がこの中にあれば、特に評価したいと考えていた。例えば、観光客を呼び込むような事業などだ。

(委員)

「あじの郷づくり事業」という事業があったと思うが、該当するのではないか。

(事務局)

「あじの郷づくり事業」は何もないところから作り上げてきている事業であり、新たな魅力を創出し、それをきっかけとしてまちづくりを推進するということから該当すると考えられる。

(委員長)

今、2委員から提案があった事業を比較してみると、重なっていない事業が14事業ある。それを合致させると56事業となり、少し多い感じはするが、予備日を設ければできなくはない。これまで、1回に8事業程度の審議をしてきたが、この委員会も任期が2年目ということで、多少はスピードアップできるのではないかと思う。また、これらの事業の中にはグルーピングできるものもあると考えられるので、この56事業を基礎としておくことでよろしいか。

(事務局)

施設管理の事業は指定管理事業となっており、管理自体は指定管理事業者が実施している。評価をする上で、どこまでの評価シートができているのか事務局としても確認をさせていただき、報告させていただきたいと思う。

(委員)

市としても、ただ指定管理者にお金を出しているだけで、後は任せっぱなしという仕事はしてほしくないところである。そこはきちんとしていただきたい。

(事務局)

そのあたりが審議できる評価シートになっているかを確認したいと考えている。

(委員長)

提案のあった2委員の資料をすり合わせ今年度の抽出事業とし、事務局のチェックをいただき、評価を進めていくこととする。

② 本年度の審議日程

審議の結果、2回目以降の日程を以下のとおりに決定した。

日程（案）

- 第2回目を7月4日（水）18時30分から
- 第3回目を7月25日（水）18時30分から
- 第4回目を8月8日（水）18時30分から
- 第5回目を8月29日（水）18時30分から
- 第6回目を9月12日（水）18時30分から
- 第7回目を10月3日（水）18時30分から
- 第8回目を10月17日（水）18時30分から

③ 審議の手法

（事務局）

これまでどおりの手法というのも一つである。また、前回の協議した意見の中に、1回目に勉強会を行い、出た質問を取りまとめ、次回に審議を行うという2回に分ける方法というのもあったが、評価事業が多いので、それについては、少し難しいところではないかと考えている。

（委員）

どうしても説明がつかない場合は、担当者に説明をお願いする場合もあるかもしれないが、例年通りの審議方法でいいと思う。

（委員長）

他に意見もないようなので、原則として、例年どおりの審議方法で行うこととする。

（3） 次回の委員会

① 日程

第2回伊予市行政評価委員会は7月4日（水）18時30分から

（4） その他

3 閉会